



早寝早起き朝ごはん運動について

加藤利江

問 広島県尾道市土堂小学校が行っている「早寝・早起き・朝ごはん運動」を深谷市でも市民運動として展開してはどうか。

答 早寝早起き朝ごはんは、子どもたちの基本的な生活習慣を見直すための良い機会となりますので、深谷市教育委員会においても、既に様々な取り組みを実施しており、今後とも、家庭教育学級や青少年健全育成関係団体等呼びかけ、推進していきたい。

深谷市庁舎について

問 旧深谷市の皆様は、市役所の場所を理解しているけれども、旧3町の皆様には目立つ看板が、建物についていないので市役所の場所がわかりづらいので建物に目立つ看板をつけたい。

答 現在は考えておりません。

南下郷地域に公園を

問 南下郷の東部で旧道以北は人口増加地域だが、公園が



深谷市役所

一つもないので公園を作った方がよいと思うが。
答 南下郷地区周辺は住宅化が進み、居住人口が多くなっておりますが、現在公園や広場がなく、旧深谷市の緑の基本計画において、公園整備の位置づけをしております。今後、新「深谷市緑の基本計画」を策定していく中においても、東方東部、中山道北の地域に街区公園規模（おおむね2500㎡）の配置を位置づけたいと思います。公園設置に当たりましては、場所の選定や用地の確保などの課題もあり地元の皆様のご支援をお願い申し上げます。

入札制度に不備あり！

吉岡信彦

幽霊会社もOKか？

問 建設工事の入札において、上位業者以外は市内に本社を置くものと規定されているが、青洲公園施設整備工事の入札において、誠建設（株）が落札した際に、代理人として入札に参じたのは別会社の人物だと聞いている。本当なのか？

答 本当です。

問 それは幽霊会社を認めている事になるのではないか？

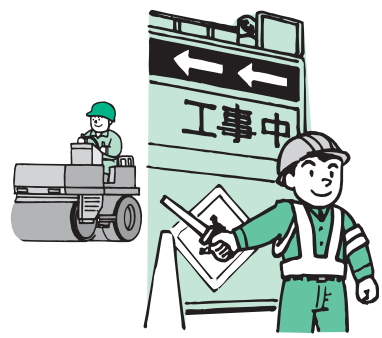
答 この方は誠建設と第一総合建設の役員を兼ねており、適法だと判断しております。

外郭団体の将来は？

問 本来は、合併協議の中で各外郭団体における事業内容を精査し、それぞれの将来構想を設定すべきだったが、一切なされてこなかった。撤廃するか拡充していくのかハッキリしないでは、職員の士気にも大きく関わるし、職員採用も、その場のしぎになつてしまうと予測される。

なるべく早く、それぞれにおける将来展望を設定する必要があると思うが？

答 ご指摘の通りだと考えますので、早期に精査して将来の展望を設定してまいります。



公有地の有効利用を！

問 公有地で、駐車場に利用されていた場所があった。

利用希望者が、市役所へ問い合わせをしたら即刻閉鎖してしまつた。

無断利用だつた訳だが、閉鎖ではなく適切な料金で利用できるように開放するべきではないか。

答 利用希望を確認して、早期に開放いたします。

総合保健福祉センターの建設は今どうなっているのか？

佐藤美智子

問 保健福祉医療に関するニーズの把握からサービスの提供までの支援を中心に行う総合的な拠点づくりとしてプロジェクトを設置しているが今後の展開はどうなるのか？

答 総合保健福祉センター建設には新たな財政負担を伴うことから、既存の建物等を活用しながら拠点づくりを調査・研究してまいります。

障害者プランについて

問 障害のある人が主体的に生活できるよう当事者やその家族が生活全般にわたり様々な相談ができ、必要なサービスにつなげていく相談体制の充実はどうするのか。

答 社会福祉協議会に委託し相談体制を充実していきます。

問 障害のある人で働く意欲を持つ人が働ける社会づくりを掲げられているが、具体的に就労支援サービスはどのようなものか。

答 19年度から始まる相談内容に基づいて検討してまいります。



妊婦無料健診の拡大について

問 妊婦健診は健康保険の適用がなく自己負担になつていく。現在、前期後期1回ずつ計2回の公費助成があるが、若い夫婦世帯の負担感は大きく経済的な支援が強く望まれている。そこで、妊婦健診の無料化の拡大をする考えはあるのか聞きたい。

答 埼玉県では県がとりまとめて医療機関と委託契約をしているため、無料回数を拡大するよう県に要望してまいります。

旧岡部の花植木街道高崎線陸橋北側の交差点に信号機を

清水おさむ

問 この交差点は見通しが悪く、交通事故が多発している。事故の未然防止のために信号機の設置を求める。

答 信号機設置の要件の一つである「相応の交通量」が見込めない状況にあります。市としては事故多発交差点と認識していますので、引き続き公安委員会に要望してまいります。



市道岡13号線と岡3-122号線交差点

学校教育について

松本光政

問 学校週5日制の見直しと教育再生について。

答 国や県の改革論議をしっかりと見据えつつ、市長施政方針にもあるように「次代を担う子どもたちの育成」を柱として学校、教育委員会、市、家庭、地域、企業等のそれぞれ役割を明確にし、互いに連携し一体感を持ちながら「深谷の子どもたちの育成」に全力で取り組むことが重要であると考えます。教育と福祉が創造的に連携し子どもの成長を継続的に支援する「人づくり」としての『深谷市モデル』を教育施策としてまとめ、順次実行に移せるよう研究してまいりますと考えております。

問 学校・家庭・地域が一体となつた教育推進について。

答 教育再生会議が、子どもたちの育成は「社会総がかり